

新しい農業委員の紹介 (19人) 議席番号順・担当区



①郡司嘉一委員
(菅谷)



②陣野原進委員
(神俣・広瀬)



③柳沼正郎委員
(上大越・早稲川)



④猪狩徳孝委員
(下大越・牧野・栗出)



⑤三田勝一郎委員
(岩井沢)



⑥渡邊義輝委員
(常葉・山根)



⑦渡邊慶幸委員
(西向・久保)



⑧白岩幸一委員
(関本)



⑨安藤末男委員
(船引)



⑩柳沼政一委員
(文珠・要田)



⑪齋藤 実委員
(美山)



⑫渡邊登喜男委員
(上移・中山・横道)



⑬三浦善治委員
(北移・南移)



⑭佐藤正之委員
(芦沢)



⑮大和田弘委員
(門沢・永谷・桐山)



⑯佐藤円治委員
(遠山沢・堀越)



⑰石井珠枝委員
(全域)



⑱佐藤伸夫職務代理者
(瀬川)



⑲吉田修一会長
(古道)

退任された委員の皆さま

長い間、お疲れ様でした

【農業委員】

白土中 (2期)、先崎保彦 (1期)、石井清吉 (1期)、新田耕司 (1期)、渡邊幸蔵 (2期)、石井宗吉 (3期・1年6カ月)、壁谷和男 (2期)、佐久間嘉彦 (3期)、石井林一 (2期)、宗形武夫 (2期)、國分貴市 (1期)、松本裕治 (1期)、村上好徳 (5期)

※敬称略

【農地利用最適化推進委員】

蒲生喜弘 (1期)、渡部秀夫 (1期)、石井正人 (1期)、石井正志 (1期)、鈴木恒公 (1期)、吉田正人 (1期)、吉田文利 (1期)、佐藤政一 (要田・1期)

農業委員、農地利用最適化推進委員としてご尽力いただいた、次の委員がこのたび退任されました。改めまして、深く感謝申し上げます。



第9号
令和3年4月
田村市農業委員会
☎81-1216
FAX81-1210

新しい農業委員会がスタート

任期は3年2月19日～6年2月18日(3年間)



会長
吉田 修一

日頃より本市の農業委員会の業務活動に対しまして、格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

この度、農業委員会の任期満了に伴い、2月19日の田村市農業委員会第1回臨時総会において委員各位のご推挙により会長に就任することとなりました。身に余る光栄でありますとともに、重責に身の引き締まる思いであります。農業委員19人、農地利用最適化推進委員20人の合計39人による新体制のもと、3年間の任期がスタートしました。

昨今、地域農業を取り巻く情勢は、担い手不足や高齢化が一段と進み、耕作放棄地が増加する中で、活かすべき農地を明確化し、農地の利用調整や担い手育成の活動に大きな期待が寄せられています。

会長就任あいさつ

新たな農業委員会では、今後、これらの課題に対応していくため、農業委員と農地利用最適化推進委員の相互が連携し、担い手への農地などの利用の集積・集約化、遊休農地の発生防止・解消・新規参入の促進など農地利用最適化を積極的に推進していくことが、重点化されており、重点化されておりますことから、農地などの利用の効率化および高度化を更に推進していく考えであります。

結びに、農家の皆様が安心して農業を続けられるよう、農業施策の一端を担うために今後3年間農業委員・農地利用最適化推進委員一同、地域の世話役・農家の相談相手として、認定農業者などの担い手への農地集積をはじめ、地域農業の諸活動を展開し、田村市の農業振興のため精力的に活動してまいります。

今後とも皆さまのご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。



▲昨年10月22日、村上会長(中央)と吉田会長職務代理者(右側)が市長に意見書を提出しました。※当時の役割

農業委員会は農業者の代表として農地などの利用の最適化推進に関して、効果的かつ効果的に実施するために、左記の項目を意見として、市の施策に反映するよう田村市へ提出しました。

【要望内容(抜粋)】

- ①担い手への農地利用の集積・集約化について
- ②遊休農地の発生防止・解消について
- ③新規参入の促進について
- ④農業の担い手・後継者対策について
- ⑤有害鳥獣対策について

「田村市農地等利用最適化の推進施策に関する意見(ご意見)」

農業者の声を市政に